

～伊予美人で収量日本一（10a 当たり）を目指す！～ 高石 光範さん（四国中央市）

青年農業者協議会 野菜部会長 1974年生まれ



☆経営概況☆

両親とともに水稻7～8ha、サトイモ3ha（地域の平均 18a）に加え、小麦もグループで生産しています。（パート 3～5人）

☆ここがポイント☆

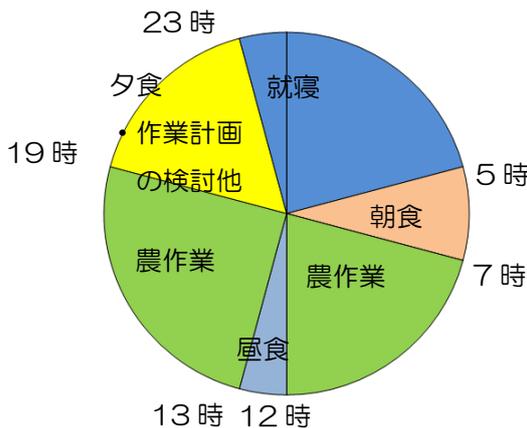
■父の背中を見て

農業に取り組む父の背中を見て、いつかは後継者になりたい。跡を継ぎたい！と思い、平成16年に退職して就農。今では、農業にやりがいを感じています。

■オリジナル営農方法で、サトイモ栽培に革命！

父が開発・改良した全期マルチ栽培法（全生育期間を通じて畝をマルチで被覆する栽培方法）や日本初のサトイモ分離収穫調整作業機を地域で率先して導入することで、作業の大幅な省力化をしています。農業は、工夫の仕方でもっと規模を拡大できる仕事でもあるんだと感じています。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活や趣味等について】

「伊予美人」と「学校給食米」の栽培が中心で、年中暇なしですが、十分やりがいのある仕事です。

趣味は、「釣り」と「サッカー」（社会人チーム所属）で仕事のリフレッシュをしています。

また、四国中央市青年農業者連絡協議会野菜部会長として、土居高校グリーンコースの生徒を受け入れ、農業体験実習を通じて後輩に農業の魅力を伝えています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	常に何らかの作業をしています					
【普段】		作業等			(休み)	



☆これからの夢や目指すもの☆

■農業で地域貢献を！

農業の魅力を地域の小学生たちに伝えるため、平成15年から学校給食用米（2ha）の栽培にも取り組んでおり、給食を通じた、地域貢献に引き続き取り組んでいきたいです。

また、地域の特産物である伊予美人（サトイモ）を全国にアピールして、多くの人に食べてもらうことで、地域全体をPRしていきたいです。

☆メッセージ☆

■農業のやりがいを伝えていきたい！

農業は天候など色々なものに影響される忙しい仕事ですが、十分にやりがいのある職業だと思います。農業の魅力を様々な人にどんどん広めていきたいです。